

事業番号	268
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	市民四季の森バラ・アジサイまつり開催事業						担当部	都市建設部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	みどり公園課							
	事業期間	平成17年度			～		平成30年度以降		担当係	花と緑推進係						
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		27 公園・緑地・緑道		1 緑化意識の普及・啓発を進める									
		副目的														
	予算区分	款	8		項	4		目	4		大	5		中	1	
	根拠法令・個別計画															
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	30 %			委託	70 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市民四季の森のPRを行うとともに、市民への緑化意識の高揚を図る。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容 バラとアジサイの開花時期にあわせ6月4日から6月19日までの16日間にわたり実施した。オープニングの6月4日と5日には、ステージイベントや緑化木の配布のほか、市民団体との協働による体験型ブースの出展や自然観察会・クイズラリーなどを開催した。6月11日と12日には、緑化推進協議会によるウォールバスケット教室 6月18日と6月19日パワースポットラリーなどを開催した。</p> <p>【直接経費の内訳】 開催委託料(7,198千円) 写真大会等の審査員謝礼(60千円) 賞品等消耗品(124千円) 資材購入費(701千円)</p> <p>○24年度実施内容 市民参加によるイベントの拡大を図るため、市民参加団体2団体を追加するとともに、新たに名古屋造形大学の参加を予定している。 緑化意識を高めるイベントの充実するため、体験型のクラフトコーナーや、市民四季の森の自然を満喫できる園内巡回型のクイズラリーや探検ツアーなどを行う。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	9,039	8,534	8,084	9,188	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.40	0.40	0.40
			人件費	千円	2,659	2,127	2,127	2,127
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	11,698	10,661	10,211	11,315	
	対前年比	%		91.1	95.7	110.8		
財源	一般財源	千円	11,698	10,661	10,211	11,315		
	国・県支出金	千円	0	0				
	その他財源	千円	0	0				

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	開催期間	日	目標		16	16	16
実績				16	16	16	
イベント数	件	目標		25	25	27	27
		実績		25	25	27	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	来場者数	人	目標		30,000	30,000	30,000
実績				30,000	30,000	30,000	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	事業の達成状況	成果指標である来場者数は目標の30,000人を達成でき、施設のPRは充分にできている。また、緑化イベントへの参加も多く緑化意識の高揚を図ることについてもある程度達成できている。
	事業実施における課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的を緑化意識の高揚を図ることに重点を移していくことが必要である。 ・さらに市民協働を拡大した開催内容としていくことが必要である。 ・イベント関係者は、施設開場前に入場できるが、一般の来場者との判別が困難で、一部混乱が生じていたため、改善の必要がある。 ・イベント名称の「バラ・アジサイ」については、イベント開催時期が限定されてしまう。
	事業を縮小・廃止したときの影響	施設のPRや、緑化意識の高揚を図るための機会と市民との協働の場が減る
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	来場者も多く、施設のPRや緑化意識の高揚については、一定の成果が上がっていると考えられるため。また、イベント全体を通して大きなトラブルも発生していないため。
	改善案等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が企画し参加するイベントとするため、事業委託業者選定の企画審査会に市民活動団体代表を加え意見を取り入れるとともに、ネイチャークラフト体験ブースを拡充するなど、緑化意識の高揚を図るためのイベントの充実を図る。 ・イベント関係者の搬入路を、一般来場者入場口とは別の入り口とし、入場券を配布しガードマンにより確認を行うことで混乱を避ける。 ・イベント名称の「バラ・アジサイ」の変更も視野にいれ、来場者に市民四季の森を満喫していただけるように、開催時期についても検討していく。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。平成23年度外部評価を受けた改善が進められており現状維持とする。